

2022 年度
教職課程
自己点検評価報告書

関西外国語大学

2023 年 5 月

目次

I 教職課程の現況及び特色	1
II 基準領域ごとの教職課程自己点検評価	
基準領域1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な取組	4
基準領域2 学生の確保・育成・キャリア支援	12
基準領域3 適切な教職課程カリキュラム	17
III 総合評価	20
IV 「教職課程自己点検評価報告書」作成プロセス	21
V 現況基礎データ一覧	22

I 教職課程の現況及び特色

1 現況

(1) 大学名:

関西外国語大学

英語キャリア学部英語キャリア学科	中学校教諭一種免許状(英語) 高等学校教諭一種免許状(英語)
英語キャリア学部英語キャリア学科	小学校教諭一種免許状
外国語学部英米語学科	中学校教諭一種免許状(英語) 高等学校教諭一種免許状(英語)
外国語学部スペイン学科	中学校教諭一種免許状(英語) 高等学校教諭一種免許状(英語) 中学校教諭一種免許状(スペイン語) 高等学校教諭一種免許状(スペイン語)
英語国際学部英語国際学科	中学校教諭一種免許状(英語) 高等学校教諭一種免許状(英語)
関西外国語大学短期大学部	中学校教諭二種免許状(英語)
関西外国語大学大学院	中学校教諭専修免許状(英語) 高等学教諭専修免許状(英語)

(2) 所在地: 中宮キャンパス 英語キャリア学部、外国語学部

大阪府枚方市中宮東之町 16-1

御殿山キャンパス・グローバルタウン 英語国際学部

大阪府枚方市御殿山南町 6-1

(3) 学生数:

(2022年5月1日現在)

学生数: 英語キャリア学部	451 人
外国語学部	6457 人
英語国際学部	3053 人

2 特色

【建学の理念】

「国際社会に貢献する豊かな教養を備えた人材の育成」と「公正な世界観に基づき、時代と社会の要請に応じていく実学」

【関西外大人行動憲章】

学の研鑽

わたしたちは、専門の語学、言語はもとより、多様な学問分野において常に研鑽を積み、知識基盤社会の構築、発展に寄与します。

国際人としての自覚

わたしたちは、地球社会の一員であることを常に自覚し、異なる文化の尊重と共存、相互理解を推進します。

国際貢献

わたしたちは、国際社会の平和と安全、繁栄と共生に向け、地球規模の課題克服に取り組みます。

人間力の涵養

わたしたちは、個としての健全なる自我の確立とともに、社会的存在として全人的な資質の向上を図ります。

地域参画

わたしたちは、自らの知識や能力、ならびに大学の教育資源を生かし、拠って立つ地域の文化的、教育的発展に貢献します。

本学は、建学の理念に「国際社会に貢献する豊かな教養を備えた人材の育成」と「公正な世界観に基づき、時代と社会の要請に答えていく実学」の二つを掲げ、外国語をツールとして社会の各分野で活躍する国際人を育成してきた。英語キャリア学部・外国語学部・英語国際学部の3学部にて約1万人の学生が学び、半数の学生は海外提携大学(55か国・地域、395大学)に留学するとともに世界中から約350名の留学生を受け入れ、御殿山キャンパス・グローバルタウンにて日本の学生と生活・学びを共にするなど、まさに「キャンパスは地球」である。

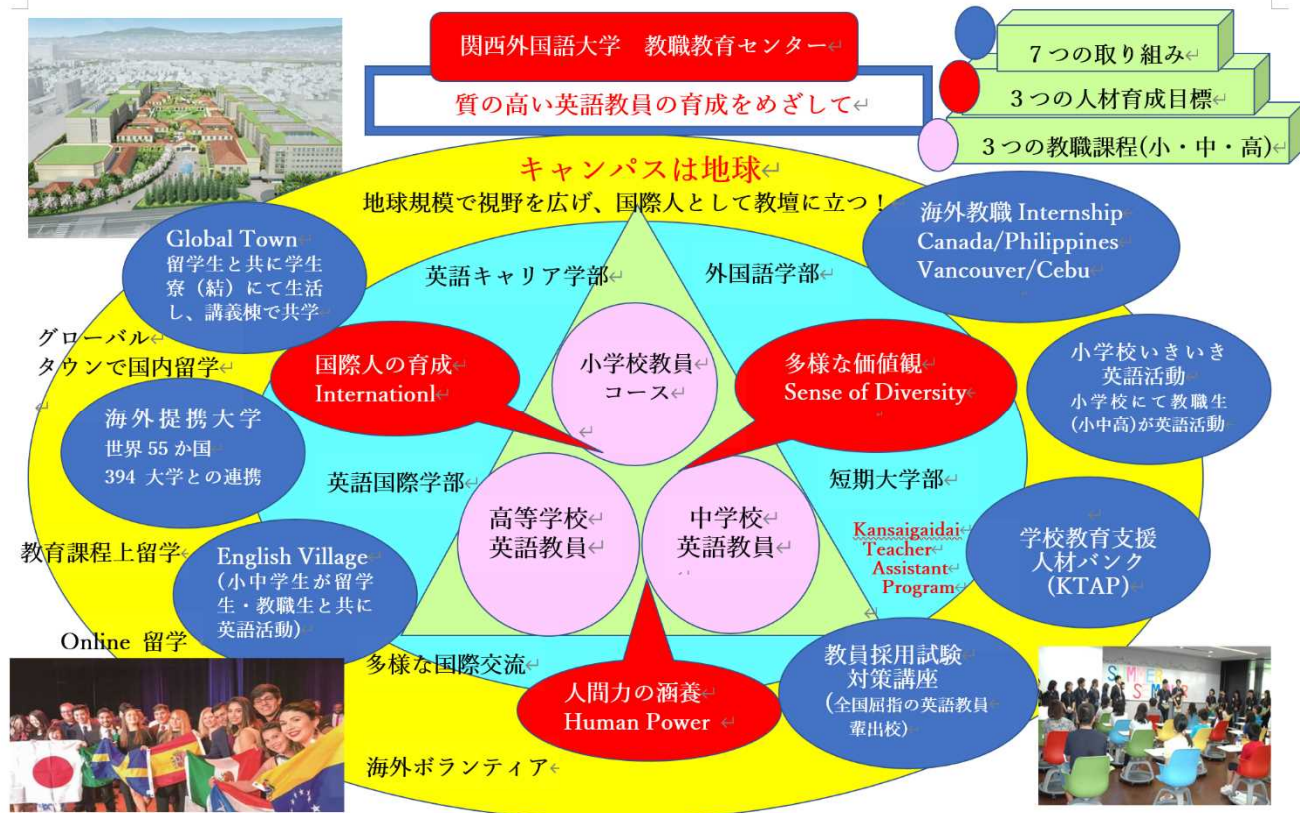
さらに2023年度より4年間留学生とともにオールイングリッシュで学ぶ国際共生学部を新設し、外国語学部にてデジタルコミュニケーション学科を新設するなどよりグローバルにグローバルな教育を展開している。

そのすばらしい教育環境のもと、国際人育成を建学の理念に掲げる大学として、「質の高い英語教員をめざして、地球規模で視野を広げ、国際人として教壇に立つ」を目標に掲げ、教員養成に取り組み、中学校・高等学校英語教員の合格者は全国屈指であり、2022年度現役合格者は過去最高となるなど、各方面から高い評価を受けている。

また、近年キャリア学部にて小学校教員コースを設置し、「英語の使える小学校教員」を目標に人材育成に取り組んでいる。

このように本学は、国際化の進展の中で、これまで培ってきた国際人育成、教員養成の蓄積を活かし、未来に向けて国際教育を担う小・中・高の教員養成に取り組んでいる。

(参考図：関西外国語大学 教職教育センター)



II 基準領域ごとの教職課程自己点検評価

基準領域1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な取組

(1) 基準項目1-1 教職課程教育の目的・目標を共有

〔現状説明〕

本学の教職課程の理念は、建学の理念に基づき、以下のとおり定めている。

(全学的な教員養成理念)

本学における教員養成の理念は、「国際社会に貢献する豊かな教養を備えた人材の育成」と「公正な世界観に基づき時代と社会の要請に答えていく実学」という建学の理念を具現化することである。この建学の理念に則り、次に掲げる二本の柱を理念としている。

- ① 「高度で実践的な言語運用能力を持ち、言語・文化・宗教などを異にする人々と共生しうる、豊かな教養を備えた教員の養成」
- ② 「教職に対する強い情熱と使命感を持ち、教職という専門職に求められる実践的・専門的な知識・技能を備えた教員の育成」

実践力のある初等・中等教員の養成という社会的な要請に応え、国際社会で必要とされている共通語としての英語のコミュニケーション能力を児童・生徒に身に付けさせることができる実践的な力を身に付けた英語教員の養成に努める。

(教員養成の構想)

教職に求められる「情熱・使命感」、「専門性」、「社会性」、「人間性」をはじめとする優れた資質能力を有する初等・中等教育教員の養成・確保という社会的要請に応えることが本学の教員養成構想の基本概念である。

特に、国際社会で必要とされている国際的共通語としての英語のコミュニケーション能力を児童生徒に身に付けさせることができる英語教員を養成することで、日本人に対する英語教育を抜本的に改善し、日本人の英語運用能力のボトムアップを図り、世界から理解、信頼され、国際的なプレゼンスを高め、我が国が一層発展していくために、本学が高等教育機関として貢献することが、教員養成の構想に係わる重要な概念である。

(本学で養成する教員像)

本学の教員養成課程においては、以下の七つの資質・能力を備えた人材を系統的、重点的に育成する。

- ① 教職に対する強い情熱と使命感を有する教員

教職課程を履修している学生が、早期段階から、小学校、中学校、高等学校等の各学校教育現場を訪問し、各種学校教育活動の補佐、支援を行うなど、児童生徒や教職員との触れ合いを通じ、組織的・系統的な学校教育体験を積むことにより、学校教育活動全般についての理解を深め、教職に対する強い使命感や責任感を育成する。

- ② 教職に関する優れた実践力を有する教員

教職課程を履修している学生が、小学校、中学校、高等学校等の学校教育現場へ年間を通

じ一定期間訪問し、児童生徒の学習活動、特別活動や教科外活動、特別支援活動等に携わる中で、児童生徒理解や今日的教育課題に対する理解を深めるとともに、教育についての課題発見・課題解決能力をはじめ、教科指導、生徒指導、学級指導等に係る実践力を育成する。

③ 卓越した英語運用能力と言語力を有する教員

教えるための英語力として、教職課程を履修する学生に学年段階に応じた到達目標を示し(1年次TOEFL IPT 460相当、2年次TOEFL IPT 470相当、3年次TOEFL IPT 480相当)、必要とされる英語運用能力を育成する。また、外国語指導助手等との効果的なチーム・ティーチングを実施するために必要な英語による交渉能力や人間関係構築力を身につけた人材を育成する。また、目標言語としての英語のみならず、日本語による効果的なコミュニケーション能力の育成も併せて行う。

④ 英語授業力と授業実践力を有する教員

授業設計・デザイン、教材研究・開発、教授法(指導法)、評価法、授業分析法、授業運営・経営等、英語の授業を最適化するために必要な授業力を身につけた人材を重点的・系統的に育成する。

⑤ 人間関係構築力を有する教員

教職課程を履修している学生が、学校教育現場で年間を通じ児童生徒と直接触れあったり、教職員と活動を共にしたり、また、地域の方々との交流を深めたりすることにより、様々な年齢層やレベルでの円滑な人間関係を構築することができる能力を身につけた人材を育成する。

⑥ 小学校・中学校・高等学校一貫英語教育を推進することができる能力を有する教員

従来の中学校レベルの英語教育の在り方を再構築し、小中高一貫英語教育の新規フレームワークを策定する等、小中高一貫英語教育のカリキュラム、指導法及び教材・教具等の研究・開発を行うことができる人材を育成する。また、地域の小中高一貫英語教育を推進することができる指導的な役割を担うことができる人材を育成する。

⑦ 地域国際化を推進することができる能力を有する教員

地域の小学校、中学校、高等学校の英語教育や国際理解教育を支援・推進するとともに、学校教育への地域の方々の積極的な参加を促し、地域の国際化を一層推進することができる能力を育成する。

(学部ごとの教員養成理念)

外国語学部

英米語学科

【高等学校教諭一種免許状(英語)、中学校教諭一種免許状(英語)】

本学科は、英語をコミュニケーション・ツールとした高度で実践的な言語運用能力の向上を図るとともに、諸外国や地域の歴史や文化を幅広く理解し、国際感覚ならびに豊かな専門知識を基盤に、学術研究や実社会の国際舞台で活躍できる人材の育成を目的としている。

なお、特に「高度で実践的な英語運用能力」「英語授業力」と「実践的指導能力」を兼ね備えた英語教員の養成をめざしている。

スペイン語学科

【高等学校教諭一種免許状(スペイン語)および(英語)、中学校教諭一種免許状(スペイン語)および(英語)】

本学科は、スペイン語をコミュニケーション・ツールとした高度で実践的な言語運用能力の向上を図るとともに、スペインやラテンアメリカを機軸とした諸外国の事情を幅広く理解し、国際感覚ならびに豊かな専門知識を基盤に、学術研究や実社会の国際舞台で活躍できる人材の育成を目的としている。

なお、特に「英語とスペイン語による高度で実践的な言語運用能力」「多文化適応能力」と「実践的指導能力」を兼ね備えた英語・スペイン語教員の養成をめざしている。

英語国際学部

英語国際学科

【高等学校教諭一種免許状(英語)、中学校教諭一種免許状(英語)】

本学科の人材養成目的のひとつである「コミュニケーション力とマネジメント力のある中・高の英語教員」を実現するため、『今日のグローバル化社会を支える国際共通語としての英語力、異文化を理解し円滑にコミュニケーションを行う力、教育現場で必要とされる課題解決力、構想力、チームワーク力を備えた人材の育成を目的としている。』

英語キャリア学部

英語キャリア学科

【高等学校教諭一種免許状(英語)、中学校教諭一種免許状(英語)】

本学科は、高度な英語コミュニケーションを可能とする本格的な英語力と、社会科学の学修を通じて得る知識・論理的思考力・公正な視点および国際理解力と多文化共生力を基盤とし、併せて幅広い教養や豊かな人格形成などからなる英語キャリア基礎力を養成することにより、多文化共生社会においてリーダーシップを発揮する高度国際職業人につながる人材を育成することを目的としている。

なお、当該学科においては、特に「卓越した語学力」「マネジメント能力」「リーダーシップ力」と「実践的指導能力」を兼ね備えた英語教員の養成をめざしている。

英語キャリア学科小学校教員コース

【小学校教諭一種免許状】

本コースは、教育に対する強い情熱・使命感を持ち、小学校教育に関する全領域にわたる優れた実践的指導能力を身につけ、コミュニケーションを可能とする英語力と、国際理解力と多文化共生力を有した高度国際職業人につながる人材を育成することを目的としている。

大学院 外国語学研究科博士前期課程

英語学専攻

【高等学校教諭専修免許状(英語)、中学校教諭専修免許状(英語)】

本専攻では、高度な英語運用能力を基盤とし、国際社会に貢献する豊かな教養を備えた人材を養成することを目的としている。

第二言語としての英語教授法、授業運営など中等教育・高等教育における英語教育に関する広く深い知識を習得させるとともに、グローバル化社会において地域社会を支える、豊かな英語コミュニケーションを備えた高度専門職業人としての中学校・高等学校英語教員の素地を養成している。

短期大学部 英米語学科

【中学校教諭二種免許状(英語)】

本学科では、教職に求められる「情熱・使命感」、「社会性」、「人間性」をはじめとする資質能力を育成するために、教職課程履修の初期段階から学校教育現場との連携を図り、本学科学生が実際の学校教育活動と主体的に係わることができる機会を設けている。

地域社会の教育力を高めることに貢献するために、2年間という限られた期間内で、教育分野における即戦力となる人材を育成することに努めている。

(目的・目標の共有化)

大学の理念・教育研究上の目的及び学部、学科、研究科の人材養成目的については、学則に明記され、何れも入学時に配付される冊子(学部学生は「各種規程」、大学院学生は「大学院要綱(博士前期・後期課程)」)で説明し理解を促している。また、「建学の理念、大学の教育理念・方針、学部・学科の人材養成目的、「3つのポリシー」(DP、CP、AP)は、WEBで一括して公開し、大学案内や「FACT BOOK」等の冊子で教職員、学生、広く社会に公表している。

教職課程教育の目的・目標等についてもWEB上で、学部、学科、コース毎に公開している。

〔優れた取組〕

本学では共通して、教職課程履修者が、高度な英語コミュニケーションを可能とする英語力を有することを求めている。そのため、教職課程の履修継続要件や、「教育実習」履修条件を学生に配付する「各種規程」等に示し、高度な英語活用能力を持つ教職課程履修者を育成できている。

〔取組上の課題〕

本学は、「公正な世界観にもとづき時代と社会の要請に応えていく実学の教授研究を通して、国際社会に貢献する豊かな教養を備えた人材を育成する」という建学の理念を掲げ、高度なグローバル人材の育成をめざしてきた。外国語学部は、高度で実践的な言語運用能力に裏打ちされた、諸外国や地域の事情に精通し、言語、文化、歴史、宗教などを異にする人々と共生を志向する国際感覚、ならびに豊かな専門知識と幅広い視野を兼ね備えた人材の育成を目的としている。このような目的を鑑みて、日本語指導や国語教育に資することを図りたい。

<根拠となる資料・データ等>

- ・資料1-1-1: 関西外国語大学 教職課程の情報公開(ホームページ)
<https://www.kansai-gaidai.ac.jp/info/disclosure/courses/>
- ・資料1-1-2: 関西外国語大学 教職教育センター(ホームページ)
<https://www.kansai-gaidai.ac.jp/info/center/education/>
- ・資料1-1-3: 関西外国語大学 教育情報の公開(ホームページ)
<https://www.kansai-gaidai.ac.jp/info/disclosure/publication/>

(2) 基準項目1-2 教職課程に関する組織的工夫

[現状説明]

教職指導の体制および教員組織（2022年4月1日現在）

A. 教職教育センター運営委員会[全学組織]

全学横断の教職課程統括組織として、教職課程履修者を対象とした教員採用試験対策支援講座や、各都道府県・市町村の教育委員会との連携事業のための連絡調整、近隣小・中・高等学校との連携事業としての学生インターンシップ派遣、海外の現地小・中・高等学校における教育実習体験プログラムの企画・運営等、教職全般に関する支援を主な目的としている。本運営委員会は、各学部教務委員会、小学校教員コース教員会議および教育実習委員会と緊密に連携している。

構成人数： 14人

B. 教務委員会[学部単位]

教育課程の編成、履修指導や修了判定、単位認定、学籍異動等の教学全般に関する事項について審議を行っている。教職課程に関する事項について各学部の委員会は、教育実習委員会で審議した案件を精査し、教職教育センター運営委員会と密接な連携のもとに、審議および提案等を行っている。教授会の下部組織として、教授会で審議する事項のうち、教育課程編成、履修指導や修了判定、学籍異動等の教学全般に関する事項を審議・運用する。

英語キャリア学部 構成人数： 7人

外国語学部 構成人数： 18人

英語国際学部 構成人数： 9人

短期大学部 構成人数： 17人

C. 小学校教員コース教員会議[英語キャリア学部英語キャリア学科小学校教員コース]

「小学校教員コース」は、英語キャリア学部英語キャリア学科内の組織であると同時に、人材養成目的および教育課程等に小学校教員養成課程としての独自性があり、同コースの運営の円滑化を図るため設置している。本会議は教職教育センター、英語キャリア学部教務委員会、教育実習委員会等と密接に連携を図りつつ、小学校教員コースの独自の教育課程、学生指導等について、連絡および協議を行っている。

構成人数： 10人(専任教員全員)

D. 教育実習委員会[全学組織]

教育実習委員会は、教務委員会の下部組織として、教務委員会で審議する事項のうち、各学部の教職課程の運営にかかわる事項(教職ガイダンス指導内容、方針、学生指導等)について審議および調整を行うほか、教育実習にかかる突発的な事故や事件についても対処している。本委員会の運営にあたっては、教職教育センター運営委員会と緊密に連携している。

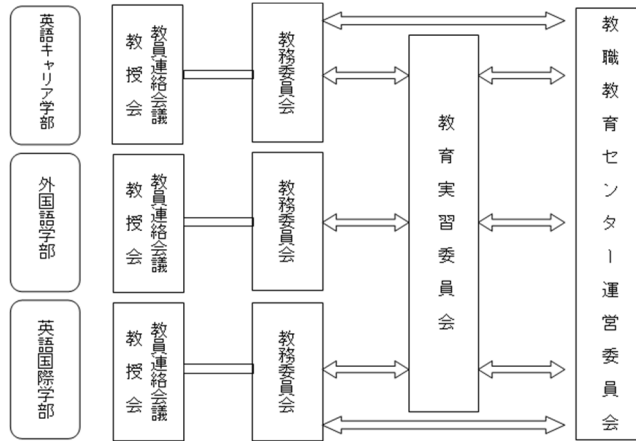
英語キャリア学部 構成人数： 5人

外国語学部 構成人数： 6人

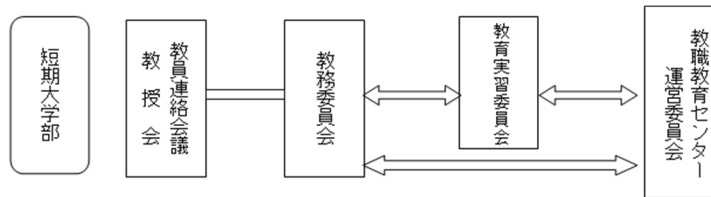
英語国際学部 構成人数: 1人
 短期大学部 構成人数: 5人

教員養成にかかる組織図

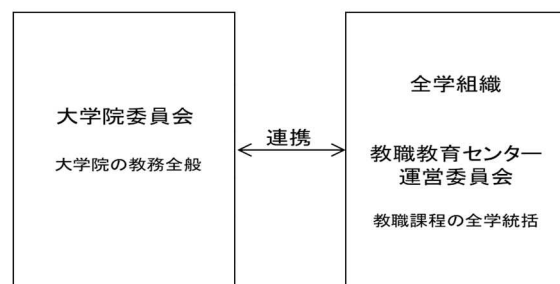
英語キャリア学部・外国語学部・英語国際学部



短期大学部



大学院



大学院組織図

〔優れた取組〕

教職教育センターの役割

教職教育センターは、本学の教職課程履修者を対象とする教員養成に関わる支援活動と小・中・高等学校との連携で教育現場の諸課題を研究し、教育全般の推進に貢献することを目的に、平成 15 年

9月に設置された。小学校で英語教育が必修化され、これまで小学校5、6年生で行われていた外国語活動が、教科としての英語に変更になり、より英語教員や英語が使える小学校教員へのニーズが高まっている。今、求められるのは、実践的な教科指導力があり、情熱と人間性にあふれた人材である。本センターは、こうした教育界の要望に応え、学校現場のニーズに即した教育研究活動を重視し、指導力、人間性ともに豊かな教員の養成を第一に考えている。

特に、卒業後教員をめざしている学生に対して、大きく分けて二つの取組を行っている。一つは、教員採用選考試験対策であり、もう一つは、将来教員として活躍できるよう、在学中から様々な経験を積むことができる多様なプログラムの提供である。

創設以来、本センターでは研究を重ねながら、こうした取組を充実させてきた。将来教員を目指す学生は、大学での授業を真剣に取り組むことはもちろん、実際の教育現場に触れる経験も必要である。本センターは学生が思い切って挑戦できる様々なプログラムを用意し、教員・スタッフが全力で支援している。

〔取組上の課題〕

現状において、組織は機能しているが、国際情勢の変化や、国内における教員不足、それに伴う教員採用試験の早期化、複線化などに柔軟に対応できるよう、連携、強化に努めなければならない。

＜根拠となる資料・データ等＞

- ・資料1-2-1: 関西外国語大学 教職課程の情報公開(ホームページ)
<https://www.kansaiidai.ac.jp/info/disclosure/courses/>

基準領域2 学生の確保・育成・キャリア支援

(1) 基準項目2-1 教職を担うべき適切な学生の確保・育成

〔現状説明〕

- ① 本学における3つのポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー)は、学部、学科、コース毎にホームページに情報公開している。

全学的なアドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)については、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえたものとなっており、教育上の目的として定める人材を育成するため、「求める人材像」を定め、高等学校での学習を通しての基礎的な知識として、英語力を中心とする基礎学力などをもとに選抜を行い、入学者を受け入れている。

また、全学的に人材像として、高等学校までの履修内容を通して、論理的に自分の意見を発信でき、とりわけ「英語」の学習において、「聞く・話す・読む・書く」の4技能の基礎的な内容を身につけていることを求めている。

例として、英語キャリア学部英語キャリア学科については、アドミッション・ポリシーを以下のように定めている。

本学科の教育上の目的として定める人材を育成するため、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを踏まえ、『求める人材像』を次のとおり定め、高等学校での学習を通しての基礎的な知識として、英語力を中心とする基礎学力などをもとに選抜を行い、入学者を受け入れます。

1. 求める人材像について

高等学校までの履修内容を通して、論理的に自分の意見を発信でき、とりわけ「英語」の学習において、「聞く・話す・読む・書く」の4技能の基礎的な内容を身につけた上で、

- (1) 高等学校での学習・活動を通しての基礎的な知識・技能や目的意識・意欲のある人
- (2) 「英語」と「社会科学」が複合した内容を学修し、本格的英語力、論理的思考力、公正な視点、国際理解力、多文化共生力などを基盤とした英語キャリア基礎力を身につけ、国際社会で活躍するキャリア形成をめざす強い意志と情熱を持つ人

2. 評価方法について

上記のような学生を選抜するため、形態ごとに以下のような試験を行い、本学で学修するための基盤となる学力などについて評価します。

(1) 一般選抜

ア. 一般入試

個別学力検査(外国語、国語)により評価します。また、本学の教育プログラムや海外留学で求められる語学力と思考力・判断力を備えた入学者を選抜する入試については、英語の資格・検定試験を活用するなど、多面的・総合的に評価します。

イ. 大学入学共通テスト利用入試

大学入学共通テストの得点により評価します。

(2) 学校推薦型選抜

ア. 公募制推薦入試においては、基礎学力検査として英語を課し、調査書等、学校長推薦書を総合して評価します。

(3) 特別型選抜

ア. 2カ年留学チャレンジ入試においては、書類選考、小論文、口頭試問(面接)を総合して評価します。

② 中学校・高等学校教諭免許状取得希望者には入学前3月下旬に「新入生対象教職課程ガイダンス」を実施している。ガイダンスでは、

- ・教職課程において大切なことは、まず先生になりたいという強い意志と情熱であること
- ・教員となって、何をしたいのか、何ができるのか、といったことを、4年間の大学生活でその答えを考えながら過ごすこと
- ・授業を大切に受講すること
- ・継続履修要件の英語力はなるべく早い時期にクリアできるよう、積極的に学内 TOEFL・TOEIC を受験すること
- ・ボランティアへの参加等、色々なことに挑戦すること
- ・教職教育センターを活用すること 等を伝えている

③ 教職履修学生に対して、教職担当教員と教職教育センター教職員が連携し、個別相談・支援などをきめ細かく行っている。同時に各学年進級時や教育実習参加時における到達しなければならない成績、TOEFL スコアなどの履修基準を設定するなど、教員への夢を育むとともに、緊張感を持って教職履修に取り組む体制を敷いている。

また、教職教育センターが行っている事業(教職履修学生の小・中・高校における多様な教育活動)への積極的参加、教育実習での連携などを行い、教職履修学生の夢を叶えるべく学修支援を積極的に行っている。

〔優れた取組〕

学内 TOEFL、学内 TOEIC、実用英語技能検定を行うことで、海外留学、関西外大流グローバル人材育成プログラムや Super IES プログラムに繋げ、豊かな英語力育成を行っている。

関西外大流グローバル人材育成プログラム:ほとんどの授業を外国人留学生とともに英語で履修することにより、海外留学と同レベルの学びが関西外大で実現している。このことにより、高度な語学力を有し、多様な国や文化、民族、歴史、宗教への寛容さを持ち、客観的・論理的思考力を身に付け、さらに、コミュニケーション力、解決方法を探るネゴシエーション力、ものごとを推進するファシリテーション力を培った人材の育成をめざしている。

Super IES プログラム:徹底的に英語力を高める特別プログラムであり、関西外大が20年以上にわたり実績を積み重ねてきた、IES(Intensive English Studies)プログラムを進化・発展させた。英語キャリア学科では「90分×週7回×2年間」、外国語学部英米語学科では「90分×週12回×1年間」の英語教育プログラムである。

〔取組上の課題〕

小学校教員コースの広報をより活発に行い、受験者の確保に向け、教員の魅力、本学の特徴について発信していかなければならない。

＜根拠となる資料・データ等＞

- ・資料2-1-1: 関西外国語大学 教育情報の公開(ホームページ)
<https://www.kansaiidai.ac.jp/info/disclosure/publication/>
- ・資料2-1-2: 関西外国語大学 教職教育センター(ホームページ)
<https://www.kansaiidai.ac.jp/info/center/education/>

(2) 基準項目2-2 教職へのキャリア支援

〔現状説明〕

教職に就くための情報提供について、入学時に教職課程ハンドブックを配付するとともに、教育実習、介護等体験については、事前事後にガイダンスを行い、資料配付及びWEB上掲示で支援を行っている。その他、必要事項は、ホームページ、メール等で情報発信している。

例として小学校教員コース用ハンドブックには次のような年次表を示している。

免許状取得までのスケジュール

	小学校教員コース	教員採用試験
2年	3月	
	4月	①教育実習ガイダンス
	5月	②教育実習ガイダンス
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	
	10月	
	11月	③教育実習ガイダンス
	12月	
	1月	
	2月	
3年	3月	④教育実習ガイダンス、グループ面接
	4月	
	5月	
	6月	
	7月	⑤教育実習直前ガイダンス
	8月	
	9月	教育実習（小学校 20日間）
	10月	
	11月	⑥教育実習研究会
	12月	
	1月	
	2月	
4年	3月	
	4月	
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	介護等体験事前ガイダンス
	10月	介護等体験（学校・福祉施設） （9月から12月）
	11月	免許状一括申請説明会
	12月	
	1月	
	2月	
3月	教員免許状交付（学位記授与式当日）	教採試験実施要項発表 教採試験申込 教員採用一次試験 教員採用一次試験結果発表 教員採用二次試験 教員採用二次試験結果発表

◎各自、掲示板やemail連絡等で日時・場所を確認して記入し、スケジュール管理を行ってください。

ガイダンスの取り扱いについて

- ガイダンスに関する諸連絡は、GAIDAI-Link・学内メール等で行います。絶えず注意し、見落としがないようにしてください。
- ガイダンスに事情があって出席できない時は、必ず事前に教職教育センターへ申し出てください。無断欠席した場合は、教育実習を行う資格を失う場合があります。ボランティア活動・アルバイト等の個人的な理由による欠席は認めません。
- 疑問や不明な点があるときは、教職教育センターへ相談してください。
- 教育実習の単位修得には、「教育実習ガイダンス①～③（教育実習事前指導）」と「教育実習研究会④（教育実習事後指導）」での指導・課題提出（1単位）が含まれます。
- ガイダンスの遅刻は一切認めません。公共交通機関での延着の場合は、必ず「延着証明書」を提出してください。
- 教育実習に関するガイダンスはスーツ着用です。身だしなみを整えて出席してください。

また、採用試験情報についても、自治体から連絡があったものについては、ホームページ、メール等で情報発信している。

〔優れた取組〕

教員採用試験対策について、実務家教員の主導による課外講座、個別指導を実施している。参加する学生が多く、好結果を残している。

令和5年度(2023年度)教員採用選考 133人合格内訳は、卒業者54人(小学校19人、中学校24人、中・高等学校3人、高等学校8人)、既卒生79人(小学校24人、小・中学校2人、中学校32人、中・高等学校4人、高等学校13人、特別支援学校4人)となっている。

なお、採用選考で希望通りの結果に届かなかった学生・卒業生に対しても、これからも相談を受け付け、支援・指導を継続する。

〔取組上の課題〕

教職教育センターの取組について、更に充実するよう推進していきたい。

＜根拠となる資料・データ等＞

- ・資料2-2-1: 2022)教職課程ハンドブック(中高)新課程版
- ・資料2-2-2: 2022)教職課程ハンドブック(小)新課程版

基準領域3 適切な教職課程カリキュラム

(1) 基準項目 3-1 教職課程カリキュラムの編成・実施

〔現状説明〕

本学における3つのポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー)は、学部、学科、コース毎にホームページに情報公開している。

各カリキュラム・ポリシーは、教育目標やディプロマ・ポリシー等を達成するために必要な教育課程の編成や授業科目の内容および教育方法について基本的な考え方を示している。

教育課程の編成・実施方針の適切な設定及び公表は、教務委員会(下部組織としての教育実習委員会)、全学教務委員会、大学院委員会での審議を経て、重要事項は、教授会規程に従い、教授会審議を経て行われる。

現在、全ての学部等において教育課程の編成・実施方針を策定の上、公表し、その中で教育課程の体系、教育内容及び教育課程を構成する授業科目区分、教育方法等を示している。

また、教育課程の編成・実施方針を踏まえて、具体的な授業の方針をシラバスで示している。

各学部、学科、コースの教職に関するシラバスについては、

<https://rapport2.kansai-gaidai.ac.jp/syllabus/GUSW1001TransSyllabus.do>

で確認できる

更に、教職教育センター運営委員会は、教職課程の質的向上のために、教育実習委員会だけではなくその上位組織である教務委員会とも緊密に連携をしている。

〔優れた取組〕

各委員会では、専門者教員、実務家教員が、それぞれの経験や役割等をもとに教職課程の編成、実施の質的向上に寄与している。

〔取組上の課題〕

1-2の項でも述べているが、教員採用試験の早期化、複線化を見据えた教職課程の見直し、カリキュラム編成、実施が急務である。

< 根拠となる資料・データ等 >

- ・資料3-1-1: 関西外国語大学 教育情報の公開(ホームページ)
<https://www.kansai-gaidai.ac.jp/info/disclosure/publication/>
- ・資料3-1-2: 関西外国語大学 教職課程の情報公開(ホームページ)
<https://www.kansai-gaidai.ac.jp/info/disclosure/courses/>
- ・資料3-1-3: 関西外国語大学 教職教育センター(ホームページ)
<https://www.kansai-gaidai.ac.jp/info/center/education/>

(2) 基準項目 3-2 実践的指導力育成と地域との連携

〔現状説明〕

実践的指導力の育成と地域との連携を図るにあたって以下のような取組を行っている。

① 介護等体験

介護等体験については、大阪府教育委員会、大阪府社会福祉協議会の協力を得て、体験先を割り振っている。事前ガイダンスを行った後、体験先施設・特別支援学校において体験学修を行い、介護等体験の記録とともに、終了後体験振り返りを行っている。

② 学生人材バンク派遣事業

学生人材バンク派遣事業は、外国語教育及び国際理解教育に係る本学の教育的資源や環境、教育研究力、教育実践力等を広く地域社会へ還元することにより、枚方市をはじめとする地域社会の国際化に寄与することを目的として始められた。

具体的には、本学教職課程に係る教育環境の強化・整備を行い、教職に対する強い使命感や優れた実践力を有する中高英語教員及び小学校英語教育を担当できる能力や豊富な実践経験を有する教員の養成を旨としている。

また、英語教育や国際理解教育等に係る現職教員の資質・能力の一層の向上を図り、英語教育及び地域の国際化の推進に寄与することができればと考えている。

本事業の目的は以下のとおりである。

- (1) 教職に対する強い使命感の育成
- (2) 教職に関する優れた実践力の育成
- (3) 英語運用能力の育成
- (4) 英語授業力の育成
- (5) 人間関係構築力の育成
- (6) 小中一貫英語教育の推進支援
- (7) 地域国際化の推進支援

活動の概要

- ア 小学校英語活動及び国際理解教育等に係る授業支援
- イ 中・高等学校の英語及び国際理解教育等に係る授業支援
- ウ 児童生徒の個別学習支援
- エ その他学校教育活動に係る教育支援

本事業は教職を志す学生の養成を目的として実施するもので、派遣される小・中・高等学校や施設で年間を通じ一定時間の活動を行った場合には、活動報告書に基づき、単位として認定するとともに、活動実績認定証交付の対象となる。

③ 教職インターンシップ

教職教育センターでは、「学生人材バンク派遣事業」と並行して、広く教職を目指す学生を対象に教育支援事業の一環として、教員養成課程の教育成果の向上を一段と図るために、近隣の市町村教育委員会との連携による「教職インターンシップ」を推進している。

また、以下の3点を特徴とする海外教職インターンシッププログラムを実施している。

- (1) 児童生徒の教科指導に必要な「教えるための英語力」の育成
- (2) 早期外国語(英語)教育に求められる、実践的なスキルを習得
- (3) 現地の教育施設を訪問し、教育現場を見学

A. カナダでのインターンシッププログラム

高い教育水準と英語・フランス語のイマージョン・プログラムで有名なカナダの人気都市・

バンクーバーで、早期外国語(英語)教育と多文化教育についてのインターンシップ、および集中語学研修を実施している。

B.セブでのインターンシッププログラム

アメリカ式のカリキュラムを取り入れた小学校および中学校・高等学校で英語教育に関する教育実習を行う。

④ 小、中、高校生を対象とした活動

(1) 子ども大学探検隊

「英語っておもしろい？難しい？関西外大で英語をとことん使ってみよう！」

学園都市ひらかた推進協議会から依頼を受け実施している。関西外大の学生や留学生と一緒に話をしたり、英語を使ったゲームや歌を歌ったり、いろんなことに挑戦している。本学の施設や教室を見学したり、食堂でごはんを食べたりと、大学生の一日の生活を体験することもできる。(対象者:枚方市内在住・在学の小学4～6年生、及び中学1～3年生)

(2) English Camp

「これまで学んだ英語を使ってみよう！！」

高校からの依頼に基づき実施している。英語で行うゲームや英語でのプレゼンテーションなどを通して、高校生が関西外大の学生や留学生とともに、英語のみを使う環境で1日を過ごしている。

〔優れた取組〕

教職課程履修学生は、小・中・高等学校や施設での「教職インターンシップ」の活動を通して、教育現場における長期間にわたる継続的な実践的学習体験の機会を持つことができる。参加する学生の多くは、教職への理解度、教職への志向を高めている。また、学生自らが教職への適性について正しく判断できる機会となるとともに、教職に求められる資質や実践的指導力の向上に主体的に取り組む姿勢が顕著にあらわれている。

特に海外教職インターンシッププログラムの実施は、本学の特徴的なプログラムである。

今年度は、小学校教員コースの学生対象に、サンウェイインターナショナルスクール(マレーシア)での研修プログラムを加えた。参加した学生は、マレーシア国内で唯一、カナダの教育システムを取り入れているサンウェイインターナショナルスクールで、英語教育、多文化社会における教育について理解を深めた。主な内容は、教育現場視察、日本文化の紹介、サンウェイ大学付属語学学校でESLクラスの受講、現地での児童支援施設での支援活動等で、豊かな生活をするための英語と、生きるための英語を体感できるプログラムとなった。

〔取組上の課題〕

小学校教員コースにおいて、従来1年生で、学校見学活動を行ってきた。コロナ禍にあり、実施できなかった影響が、2,3年生の教職離れの誘因となっている可能性がある。復活させたい。

<根拠となる資料・データ等>

- ・資料3-2-1: 関西外国語大学 教職教育センター(ホームページ)
<https://www.kansaiuidai.ac.jp/info/center/education/>

Ⅲ. 総合評価

本学では、令和4年5月1日現在、3学部と短期大学部、大学院で教職課程を開設している。また本学では、本学の教職課程履修者を対象とする教員養成に関わる支援活動と小・中・高等学校との連携で教育現場の諸課題を研究し、教育全般の推進に貢献することを目的に、平成15年9月教職教育センターを設置し、教職担当教員と教職教育センター教職員が連携し、個別相談・支援などをきめ細かく行っており、同時に各学年進級時や教育実習参加時における到達しなければならない成績、TOEFLスコアなどの履修基準を設定するなど、教員への夢を育むとともに、緊張感を持って教職履修に取り組む体制を敷いている。教職課程の教員配置は、文部科学省「教職課程認定基準」に定められた必要専任教員数よりもすべての教科担当において基準を上回る教員配置となっており、十分な支援体制が担保できている。

本学の教職課程は、この自己点検・評価報告書で述べてきたように、以下の点で概ね良好に行われていると評価できる。

「基準領域ごとの教職課程自己点検評価」、基準領域1「教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な取組」については、基準項目1-1「教職課程教育の目的・目標を共有」で示したように、大学全体及び各学部等の「教員養成の理念」を共通理解した上で、基準項目1-2「教職課程に関する組織的工夫」に示した各関係委員会で、情報交流・意見交換を通じて充実できている。

基準領域2「学生の確保・育成・キャリア支援」では、基準項目2-1「教職を担うべき適切な学生の確保・育成」を担保しつつ、特に、基準項目2-2「教職へのキャリア支援」における全学的サポート体制のもと、面接指導や集中講座などで、学部教員と教職担当教員が連携し、教員採用試験で良好な結果を残している。

基準領域3「適切な教職課程カリキュラム」では、基準項目3-1「教職課程カリキュラムの編成・実施」について、教職教育センター運営委員会等を通して、教職課程カリキュラムの改善に毎年取り組むことができている点に特色がある。また、3-2「実践的指導力育成と地域との連携」では、地域の学校や教育委員会との連携が、学部等レベル、全学レベルで充実している点も本学の長所である。

今後は、本報告書で述べた課題について検討していくとともに、教職教育センター運営委員会等の全学的連携によって教職課程の改善・充実に向けた取組を毎年継続していくことをめざしていく。

IV 「教職課程自己点検・評価報告書」作成プロセス

教職課程の自己点検・評価が包含される大学全体の自己・点検評価に基づいて点検・評価を行っている。報告書の作成とその内容についての点検プロセスは以下のとおり。

1. 全学横断の教職課程統括組織である教職教育センター運営委員会と事務局(教務部)が協働で「教職課程自己点検・評価報告書」の作成を行った。
2. 大学および短期大学の自己点検・評価委員会の下に置く各学部の部局等自己点検・評価委員会(教務委員会、教育実習委員会)で内容の確認を行った。
3. 大学および短期大学の自己点検評価委員会で審議を行った。
4. 大学評価委員会で、自己点検・評価結果の内容および改善等について審議を行った。
5. 理事会での承認を経て作成した。

V 現況基礎データ一覧

令和4年5月1日現在

法人名	
学校法人 関西外国語大学	
大学・学部名	
英語キャリア学部・外国語学部・英語国際学部	
学科・コース名(必要な場合)	
英語キャリア学科・英語キャリア学科小学校教員コース・英米語学科・外国語学部スペイン学科 ・英語国際学科	
1 卒業者数、教員免許状取得者数、教員就職者数等	
① 令和3年度卒業者数	
英語キャリア学部	93名
英語キャリア学科小学校教員コース	24名
英米語学科	1364名
外国語学部スペイン学科	240名
英語国際学科	751名
② ①のうち、就職者数(企業、公務員等を含む)	
英語キャリア学部	71名
英語キャリア学科小学校教員コース	23名
英米語学科	1065名
外国語学部スペイン学科	180名
英語国際学科	571名
③ ①のうち、教員免許状取得者の実数 (複数免許状取得者も1と数える)	
英語キャリア学部	7名
英語キャリア学科小学校教員コース	24名
英米語学科	80名
外国語学部スペイン学科	5名
英語国際学科	41名
④ ②のうち、教職に就いた者の数(正規採用+臨時的任用の合計数)	
英語キャリア学部	1名
英語キャリア学科小学校教員コース	20名
英米語学科	32名
外国語学部スペイン学科	3名
英語国際学科	14名

④のうち、正規採用者数					
英語キャリア学部		1名			
英語キャリア学科小学校教員コース		16名			
英米語学科		18名			
外国語学部スペイン学科		2名			
英語国際学科		9名			
④のうち、臨時的任用者数					
英語キャリア学部		0名			
英語キャリア学科小学校教員コース		4名			
英米語学科		14名			
外国語学部スペイン学科		1名			
英語国際学科		5名			
2 教員組織					
教員数	教授	准教授	講師	助教	その他()
英語キャリア学部	7	5	9	0	
英語キャリア学科小学校教員コース	8	2	0	0	
英米語学科	71	51	31	12	
外国語学部スペイン学科	12	8	5	3	
英語国際学科	24	22	2	3	
3 卒業者数、教員免許状取得者数、教員就職者数等			(研究科)		
① 令和3年度卒業者数					
英語学専攻		3名			
② ①のうち、教員免許状取得者の実数					
英語学専攻		0名			
③ ①のうち、教職に就いた者の数(正規採用+臨時的任用の合計数)					
英語学専攻		0名			

大学・学部名 関西外国語大学短期大学部					
学科・コース名(必要な場合)					
1 卒業者数、教員免許状取得者数、教員就職者数等					
① 令和3年度卒業者数 短期大学部					761名
② ①のうち、就職者数(企業、公務員等を含む) 短期大学部					152名
③ ①のうち、教員免許状取得者の実数 (複数免許状取得者も1と数える) 短期大学部					6名
④ ②のうち、教職に就いた者の数(正規採用+臨時的任用の合計数) 短期大学部					0名
④のうち、正規採用者数 短期大学部					0名
④のうち、臨時的任用者数 短期大学学部					0名
2 教員組織					
教員数	教授	准教授	講師	助教	その他()
短期大学学部	23	16	8	1	